

次世代アントレプレナー育成事業 (EDGE-NEXT)

受講生の活躍紹介 (記載は令和4年6月時点)

九州大学

立命館大学、奈良先端科学技術大学院大学、大阪府立大学

IDEA

Innovation x Diversity x Entrepreneurship Education Alliance

ryuden プロジェクトリーダー Umer Sadiqさん

コンソ名称

多様性と創造的協働に基づくアントレプレナー育成プログラム (IDEA: Innovation × Diversity × Entrepreneurship Education Alliance)

所属大学 九州大学

本人略歴

- 2018年文部科学省国費留学生として来日、東京外国語大学留学生日本語教育センター入学
 - 2019年九州大学工学部機械航空工学科機械工学コース入学
- 【主な受賞歴】九州大学ビジネスプランコンテスト最優秀賞(2021年)、P & G CEO Challenge 2021年日本大会優勝

事業概要

- 燃料電池部分の開発・製作法の改善



〈現在社会に与えているインパクト・成果及び今後のビジョン〉

- より良い製作法を研究することで燃料電池の触媒製造改善を図っている。
- 触媒製造改善により燃料電池の低コスト化、ひいては水素社会の実現に貢献する。また、今後日本および世界が石油および天然ガスと独立して、より安全なエネルギー資源（水素エネルギー）を使えるようになるために、そのプロセスの一端を担う一員となる。
- Global Shapers Communityに参画。同活動の中では、我々の周りに起こっているモビリティ変革に対してモビリティダイアログ（雑談）を実施。地域市民の疑問点などをコミュニケーションすることで、より早期の解決を目指す。

〈EDGE-NEXT受講プログラム・活動内容・取組成果・与えた影響等〉

- QREC の講義およびワークショップを通して起業する意志が強くなった。QREC Bootcamp 2020によってボストンに留学しながら起業している方と出会う機会があった。自分も留学生なので、すごくいい機会になった。2021年度のTA経験もビジネスプラン作成に関わった。
- New Business Creation で起業に基礎を学んで、Challenge & Creationでそれを実用化していくことをした。
- 受講したプログラムは、自分に対してサンドボックス (Sandbox)で、何回も間違いをしてそこから学ぶことができた。起業しなくても、Calculated Riskを取ることが大事ということを学んだ。

一般社団法人インパクトラボ (設立2019年)

代表理事 上田 隼也 さん

コンソ名称

多様性と創造的協働に基づくアントレプレナー育成プログラム (IDEA: Innovation × Diversity × Entrepreneurship Education Alliance)

所属大学

立命館大学

ホームページ <https://impactlab.jp>

本人略歴

- 熊本県益城町出身。立命館大学生命科学部卒業。
- 大学在学中にSDGsに関心をもち、インパクトラボを創業。
【主な受賞歴】 日本学生支援機構 優秀学生顕彰 優秀賞 (平成29年度)

事業概要

- 持続可能な社会を実現するためのインキュベーション事業
- 大学や自治体と連携したシンクタンク、コンサルティング事業



〈現在社会に与えているインパクト・成果〉 または 〈今後のビジョン〉

- SDGsに代表される様々な社会問題に対して、大学生、高校生を対象とした起業家支援プログラムを提供している。学校法人立命館や滋賀県守山市の政策づくりまで実施をしている。
- 学校法人立命館では、社会起業家支援プラットフォーム(RIMIX)の企画、運営から立命館企業・事業化推進室の設置に至るまで学園内での起業や新規事業の認知を高める取り組みを推進しており、他の大学や高校からも関心を持って頂いている。
- これまでの実績からインパクトラボは、地方自治体等のシンクタンクとなることを目標としている。持続可能な社会の実現を目指して、教育、研究、実践を軸として若い世代の仲間を作りながら、イノベーション・エコシステムを作っていく。

〈EDGE-NEXT受講プログラム・活動内容・取組成果・与えた影響等〉

- 立命館大学EDGE + Rプログラムに参加して、志を同じくした多様な学部や学年の大学生・大学院生とともに活動をできたことが現在の起業にもつながっていると感じている。一方で、大学生からイノベーション教育の機会を提供しても、実際に起業に至ることが圧倒的に少ないと感じてきた。そこで、高校生を対象として、総合的な探究の授業や部活動の一環で高校生版のEDGE + Rプログラムを実践している。取り組みをはじめから3年が過ぎたが、仲間が増え、本気で社会を変えたいと思いをもち高校生が大学生となり、後輩たちのロールモデルとなることで新たな生態系が出来ている印象がある。



Mother Lake Goals

変えよう、あなたと私から

琵琶湖版SDGsであるMLGsのロゴマークの制作および事業運営に関わっている

<https://mlgs.shiga.jp/>

株式会社GRow (設立2022年)

代表取締役CEO 切田澄礼さん

コンソ名称 多様性と創造的協働に基づくアントレプレナー育成プログラム (IDEA: Innovation × Diversity × Entrepreneurship Education Alliance)

所属大学 奈良先端科学技術大学院大学

ホームページ <http://grow-agri.com>

本人略歴

- 2020年 3月 立命館大学生命科学部卒業 (EDGE修了生)
 - 2022年 1月 株式会社GRow 設立
 - 2022年 2月 奈良先端科学技術大学院大学修了 (GEIOT修了生)
- 【主な受賞歴】第9回京都女性起業家賞 京都中央信用金庫賞 (2021年1月)、KANSAI STUDENT PITCH 最優秀賞/オーディエンス賞(2021年3月)

事業概要

- 学生団体GRow (2020年4月設立) : 農業に気軽に触れることのできる様々な企画を考案&実施 (『ONLINE × FARMERS MARKET』事業にてクラウドファンディングにも挑戦)
- 株式会社GRow (2022年1月設立) : 学生団体を法人化

〈現在社会に与えているインパクト・成果〉 または 〈今後のビジョン〉

【成果】

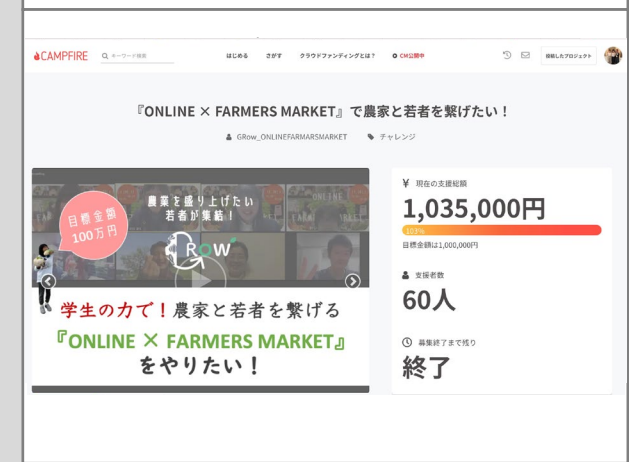
- U-25 kansai pitch contest vol.7で優秀賞を受賞。
- 2022年2.3.5月に関西で『ONLINE × FARMERS MARKET』の開催し、のべ10組の農家にご利用いただいた。

【今後のビジョン】

私は(株)GRowを「農業界を支える右腕的な企業」にしたいと考えております。そのため、今行っている販売に関するサービスのみならず、私の大学院での研究分野も生かした、土壌コンサルのサービスを展開したいと考えています。

〈EDGE-NEXT受講プログラム・活動内容・取組成果・与えた影響等〉

- 立命館大学 EDGE+Rプログラム
～様々な活動家との交流、プランの立て方・実行の仕方を学んだ
- 奈良先端科学技術大学院大学 Geiotプログラム
～様々な活動家との交流を得、農業に関するプランのブラッシュアップを成した
- 奈良先端科学技術大学院大学 crossXcrossプログラム
～行政との交流や、プラン実行にいたり、協力してくれる人との交流を得た



upG (設立2022年)

代表 中庭健太さん

コンソ名称

多様性と創造的協働に基づくアントレプレナー育成プログラム (IDEA: Innovation × Diversity × Entrepreneurship Education Alliance)

所属大学

大阪府立大学

本人略歴

- ・ cvg学生ビジネスコンテスト 奨励賞
- ・ 琉球DigiCo ビジネスプランコンテスト 最優秀賞
- ・ ミライのピッチ 最終選考進出
- ・ 大阪府立大学ビジネスアイデアコンテスト2020 後援会賞
- ・ 大阪府立大学ビジネスアイデアコンテスト2021 レヴィ賞

事業概要

- 大学生向けスケジュールアプリを用いたHR事業。



〈現在社会に与えているインパクト・成果〉

- 2022/04 大阪公立大学内でのサークル・クラブの新歓誘致に運用。
- 2022/05 ERAUからの留学生を対象に、大阪公立大学生との交流を深めるツールとして運用。

〈今後のビジョン〉

- 今後は学生にとって身近なアプリケーションとして認知を広め、大阪公立大学以外の大学での運用を目 座しています。また、理念である「早期からキャリアパスを考えることができる環境づくり」を目標に、起業説明会の誘致などに取り組んでまいります。

〈EDGE-NEXT受講プログラム〉

- 2020年度大阪府立大学アントレプレナー教育Fledgeプログラムベンチャービジネス演習を受講 ● Bootcamp2020に参加

〈取組成果・与えた影響等〉

2020年度、広瀬教授によるベンチャービジネス演習を受講し、根本的な起業の仕組みやマインドセットを学びました。そこで得た学びはチームを導いていくにあたり、大いに参考にさせていただきます。

